

一步前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

偶然には変化を起こす力がある

新しい学年になり、新しい学級になりました。

今、皆さんの学級には、およそ35人の仲間がいます。

その仲間の中には、部活動が同じだとか、去年も同じ学級だったとかで、よく知っている人もいるでしょう。

反対にはじめて同じ学級になったので、名前くらいしか知らないという人もいることでしょう。

そういう仲間たちが、偶然、1つの学級に集まったわけです。

以前から知っている仲間だったとしても、今年同じ学級なるかどうかは分からなかったわけです。同じ学級にならなかつたかもしれません。

そういう意味では、以前からよく知っている仲間でも、偶然ここで出会ったということができるのではないでしょうか。

ところで皆さん「偶然」ということに、ある力があることを知っていますか。

偶然によって大きな変化が起こることがあるということです、

1980年代につくられた「戦場のメリークリスマス」という映画があります。国際的にも、とても評価されている作品です。

この作品には、ビートたけしさんや坂本隆一さん、デヴィッド・ボウイさん等が出演して、素晴らしい演技をしました。

しかし、実はこの人たちは、最初から出演が決まっていたのではなく、全員が代役だったので。

監督が最初思い描いていた俳優さんたちが全員、都合がつかなかつたり、出演を断つたりして、この3人が出演したのです。

言うなれば、偶然会ってつくられた映画だったのです。

このようなエピソードを聞くと、偶然によって何かが生まれるものだということがよくわかると思います。

皆さんの学級に集まったメンバーも、偶然に会った仲間です。

この偶然の出会いを大いに生かして、素晴らしい友情を育て、協力して大きな力にしていきましょう。

